

公民連携で三世代が交流するあそび場をプロデュース あかがねキッズパーク（愛媛県） & キッズランドおやま（栃木県）が4月に誕生 行政と連携したあそび環境づくりが各地へ拡大中

子どもの健全な成長に寄与することを目的に教育玩具・遊具の輸入・開発・販売と遊び環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、4月15日にオープン予定の愛媛県新居浜市が運営するレジャー施設「マイントピア別子」内に「あかがねキッズパーク」を、4月29日にリニューアルオープン予定の栃木県小山市駅前の商業施設「ロブレ」内に「キッズピアおやま」をプロデュースしました。あそび環境作りが施設や地域の活性化につながり、地方再生への糸口となる可能性を有していることが、各自自治体からも注目を集め、ボーネルンドのあそび場作りは全国へと広がっています。

各施設の特徴

● 「あかがねキッズパーク」(愛媛県新居浜市) 2016年4月15日オープン予定

施設の老朽化、利用者の減少が進んでいた、愛媛県新居浜市が運営する複合レジャー施設「マイントピア別子」のリニューアルに伴い、室内、屋外のあそび場をプロデュースしました。元は温泉施設であったスペースに、木のぬくもりが感じられる室内あそび場を設置、さらに屋外も三世代が集える場として開発しました。観光スポットとして、また地域の方々が集う魅力的な場としての利用が期待されています。

<施設概要>所在地:愛媛県新居浜市立川町 707-3/屋内坪数:約 170 坪(約 560 平米)



▲屋内イメージ



▲屋外イメージ

● 「キッズランドおやま」(栃木県小山市) 2016年4月29日オープン予定

再開発を控える商業施設「ロブレ」内に、社会福祉法人洗心会が運営する関東最大級 2,000 m²の子育て支援施設の基点としてオープン。施設の集客力強化とともに、あそび場を求める子育て世代からの要望に応え、小山市が遊具設置費を負担する形で設置が決まりました。民設民営の施設ですが、子育て支援施設として利用料を低く抑えるため、小山市が運営費の一部も負担。あそび場設置による地域の活性化が期待されています。

<施設概要>所在地:栃木県小山市中央町 3-7-1/坪数:約 610 坪(約 2,000 平米)



行政との協業背景

ボーンランドは子どもの健全な成長にあそびを通して貢献するため、あそび環境作りを行っています。近年は自治体との取り組みが増え、2014年の栃木県足利市との「キッズピアあしかが」、2015年大阪府大阪市との「ボーンランド プレイヴィル 天王寺公園」がオープンしました。いずれの施設も子どもの高い満足度に加え母親からも支持を集めて、オープン以降入場者数は順調に推移。公民連携によるあそびを核とした子育て支援や地方創生の先進モデルとして、各地の自治体が視察に訪れるなど他エリアの行政からも注目を集めています。

【ご参考】行政と連携した主な事例のご紹介

● 「キッズピアあしかが」(栃木県足利市 2014年12月オープン)

足利市が子どもの運動不足や運動能力の低下を懸念し、同市が運営する子育て支援施設に大型の室内あそび場を設置しました。赤ちゃんから小学生までが、それぞれの成長に合わせてダイナミックなあそびを楽しめるようになっています。

異年齢や異世代があそびを通じて出会い、学び、助け合い、次世代とつながる交流の場として活用され、地域の活性化にも役立っており、オープン7ヶ月で10万人が来場し、安心して親子と一緒に遊べる環境として高く支持されています。



● 「ボーンランド プレイヴィル 天王寺公園」(大阪府大阪市天王寺区 2015年10月オープン)

かつて天王寺公園は機能的には十分整備されておらず、地域の人々が集まる憩いの場とは言いがたい状況が続いていました。このような現状を受け、エリア再開発を掲げる大阪市から事業主として指名を受けた近鉄不動産が、2014年から地域活動・広域観光の拠点を目指して「天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業」を推進しています。その一事業として、同公園エントランスエリア「てんしば」に、あそびの環境創造に関する知見を持つ当社が屋内外のあそび施設「ボーンランド プレイヴィル 天王寺公園」を開業し、新たな公園のあり方を実現しました。昨年10月のオープン以来、来場者数は順調に伸び、三世代が集うスポットとして注目を集めています。



【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国80カ所で店舗を展開しています。また、幼稚園、保育園、小学校、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千カ所まで拡大しています。2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。現在全国20箇所、年間273万人以上、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると全国32箇所、年間300万人以上の親子が訪れています。

《報道関係の方のお問い合わせ先》	
株式会社ボーンランド 広報室 担当：黒木 TEL：03-5785-0860 E-mail：s-kuroki@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担当：五味渕、池田、山口 TEL：03-4580-9104 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
《一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用）》	
株式会社ボーンランド	TEL：0120-358-518